

TOPICS

1

資源植物科学研究所の馬教授が、秋の紫綬褒章を受章！



本学資源植物科学研究所の馬建鋒教授が、植物栄養生理学での研究功績が認められ、令和4年秋の紫綬褒章を受章しました。紫綬褒章は、科学技術分野における発明・発見や、学術及びスポーツ・芸術文化分野における優れた業績を挙げた方に贈られる国家褒章です。

馬教授は長年にわたり主に作物(イネ、オオムギ、ソバなど)を対象に、ミネラル輸送機構に関する研究を行い、数々のミネラル輸送体を世界に先駆けて同定し、その制御機構を解明しており、日本の農学研究発展に大きく貢献していることが評価されました。

受章を受け、「今回紫綬褒章を賜り、大変身に余る光栄です。これまでに、がむしゃらにコツコツと地道に頑張ってきたことがこの受章に繋がったと思います。この章を励みに、今後さらに精進していきたいと思います」と話しています。

参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id11577.html



TOPICS

2

井原市と寄付講座の設置に関する協定を締結

本学と井原市は10月25日、寄付講座「周産期・小児救急医療学講座」の設置に関する協定を締結し、本学津島キャンパスで調印式を開催しました。

調印式には本学の榎野博史学長をはじめ、井原市の大舌勲市長や関係者が出席し、協定書に署名しました。榎野学長は「本学が掲げる『実りの学都』構想の一環であり、大学の使命である人材育成・地域貢献に繋がる。正に地域と大学が連携した結果の賜物」と述べ、大舌市長は「周産期医療や小児救急医療に対する要望は多く、本寄付講座の開設により安心安全な子育てができる環境が整備できていることを市民の方々に知ってもらいたい」と、寄付講座開設に対する期待を表明しました。

この寄付講座には専任教員2人を配置し、令和4年11月から設置期間5年間の予定で、若い世代が安心して出産・子育てができる環境を整備するという課題解決に向けた活動に取り組んでいきます。

参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id11609.html



Pick up!

中国学生ボート選手権大会で漕艇部の2艇が優勝、1艇が準優勝しました！



10月9日、本学漕艇部が第66回中国学生ボート選手権大会に出場し、男子シングルスカルでは、清野雄大さん(理学部4年)が優勝、池田大悟さん(文学部2年)が準優勝、女子シングルスカルでは、神尾羽葉さん(農学部1年)が優勝しました。

大会後、清野さんは「今までの練習成果をしっかりと発揮することで、初優勝できて嬉しいです。大会が無事開催され、出場出来ることに感謝の気持ちを忘れず、今シーズンの残りの大会も優勝目指して頑張りたい」とコメント。池田さんは「レースで勝つことができたと同時に、自分の実力不足も感じた。全国で戦える選手を目指して頑張ります」と今後の抱負を述べました。また、神尾さんは「2000メートル漕ぎきれて気持ちよかったです。これを糧により大きな大会でも成績を残せるようトレーニングしていきます」と話していました。

参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id11614.html



TOPICS

3

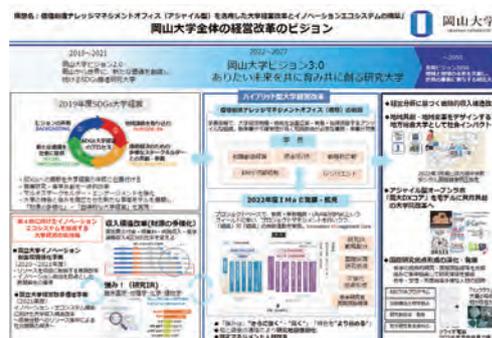
令和4年度「国立大学経営改革促進事業」に採択

本学は9月30日、文部科学省の令和4年度「国立大学改革・研究基盤強化推進補助金(国立大学経営改革促進事業)」に、「地域”や”特定分野”の中核として強み・特色ある教育研究活動に取り組む国立大学法人」の枠組みで採択されました。

採択された事業構想では、岡山大学長期ビジョン「地域と地球の未来を共創し、世界の革新に寄与する研究大学」の実現に向け、強みの研究分野への重点投資による外部資金獲得実績を通じ資金の好循環を実現し、教育研究の活性化を図ること、及び先行実施するアジャイル型運営組織である「IMaC」に加え、大学経営の戦略・戦術を先導する「価値創造ナレッジマネジメントオフィス」を学長直下に創設し、組織イノベーションを加速させることとしております。

学長のリーダーシップによる全学的な実施体制のもと、新たな価値の創出と社会課題の解決を強力に進めて参ります。

参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id11597.html



TOPICS

4

「岡山大学ホームカミングデイ2022」を開催



10月22日、来場者に大学を懐かしみ、親んでもらうため「岡山大学ホームカミングデイ2022」を開催しました。2020年からは新型コロナウイルス感染拡大の影響で開催を自粛しており、3年ぶり11回目の開催となりました。今回は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点や遠方の方にも気軽にご参加していただけるよう、対面とオンラインを併用したハイブリッド形式で開催しました。

創立五十周年記念館をメイン会場として、うらじゃ演舞、オープニングセレモニー、金光功労賞・金光奨励賞授賞式、沈建仁教授による「金光功労賞」受賞記念講演、フォトコンテスト表彰式、岡山大学ミュージックフェスティバルなどの催しが行われ、各学部の会場でも様々なおもてなしの行事が開催されました。参加者は、好天に恵まれた緑あふれるキャンパスで、爽やかな秋の一日を思い思いに楽しんでいる様子でした。

参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id11586.html

PRESS
RELEASE

AIを用いたステレオビジョン空間計測技術で泳ぐ魚の計測に成功

岡山大学発ベンチャー ビジュアルサーボ・本学学術研究院自然科学学域(工)の見浪護特命教授と、大学院自然科学研究科 非常勤研究員の寇郡郡さん(当時)、高橋蓮也さんは、ステレオビジョンを用いた空間計測について研究を行い、任意対象物の3次元位置姿勢を計測するコンピュータビジョン構築に成功しました。泳ぐ魚の3次元位置姿勢の計測が可能のため、カメラ-魚間の距離が算出でき、魚の寸法を正確に計測できます。観賞魚や食用のサケマスの養殖では魚の非接触寸法計測へのニーズがあり、魚の給餌・育成管理が可能となることから自動養殖技術につながります。

本研究では、メダカの自動寸法計測に成功し、平均誤差はいずれも1mm以下で計測可能です。メダカは種類により形状も異なり、この多様性がコンピュータによる寸法計測を困難にしていたのですが、対象魚の写真を計測モデルとすることで、コンピュータへの指示が容易になりました。

参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/release/release_id1025.html

